

平成30年度

第2弾

邑南町議会意見交換会

報告書

(平成31年4月1日)

邑南町議会

# 平成30年度第2弾邑南町議会意見交換会まとめ

## ●開催日時

開催日時		会場	出席者数
1月26日(土)	午後1:30~3:15	阿須那公民館	16人
2月9日(土)	午後1:30~3:15	田所公民館	18人
2月10日(日)	午後1:30~3:15	中野公民館	13人

## ●意見交換会当日のながれ

議長あいさつ

議員自己紹介

議会の様子について説明(スライドを使って)

グループに分かれて意見交換

グループでの内容を発表

副議長あいさつ

## ●議長あいさつ(田所公民館)

平素、邑南町議会の活動につきまして、ご協力とご理解をいただいております、ありがとうございます。この度の議員全員で各3地域での意見交換会は2回目となります。本日の日程につきましては、議会運営委員長がこのあと説明いたします。

はじめに、3月定例会前でございますので、31年度予算をはじめ、邑南町ですすめられております事業について、今日の意見交換会の議題になればと、2項目についてお話いたします。

1点は、三江線が廃止後、その活用として、現在、JRと邑南町で譲渡について3月末までに一定の方向を示すこととなっており、議会としても審議をしていきます。

2点目は、30年度より進んでおります「道の駅瑞穂」の整備計画が、今年、基本計画が策定され、32年から33年に向け、事業が進むとなっており、その都度、議会でも審議をしていきます。

本日のご意見を予算に反映できるものは、早急に審議させていただきたいと考えております。短い時間ですがよろしく願いいたします。

## ●意見交換会おわりのあいさつ(副議長)

失礼します。本日は、多くの方にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。今日いただいた多方面にわたるご意見を町政、あるいは、議会に反映していきたいと思っております。最後に、来年は、もっとたくさん出かけていただけるように、みんなで研究していきたいと思っておりますので、来年もよろしく願いいたします。本日は、誠にありがとうございました。

## ●目 次

阿須那公民館まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～4 ページ

田所公民館まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～6 ページ

中野公民館まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6～8 ページ

## 阿須那公民館まとめ

### (第1グループ)

- 町の予算について。過疎法が延長になったということが新聞報道にあったが、現在の町の予算は、過疎債にたよった地方予算であり、また、合併特例債がなくなる状況で、今の予算配分のままでは、ますます厳しい状況になるのではないかと。フィンランド、ゴールボールチームの合宿を招致したりしているが、そのレガシーなど本当に今、町に必要なのか。また、今ある数々の事業が、本当に必要な事業で、きちっと予算執行がされているのかどうか。また、国の負債はどんどん増加しているなか、地方への配分が変わっていない。このようなことにもしっかりと議会は目をむけて、一つ一つの事業についてもうちよつとつこんで意見を言ってほしい。
- 老人会の世話をしているが、なかなか会員さんが増えたりしない。いい方法はないだろうか。
- 冬場、一人暮らし高齢者のお宅に民生委員として安否確認をするとき、除雪が間に合っていないと困ることがある。除雪機を増やすとか、なんかそういったことはできないか。
- 除雪の出動時間が少し遅いのではないかと。
- おおなんドリーム（町内の小中学生、それから養護学校、矢上高校の生徒さんが発表する場）で、2年前に石見中学校の生徒さんが提案し、町内各地にあいさつ運動のポスターを貼られていた。あいさつを広めることはいいことだと思うので、もっと推進してほしい。
- 31年度予算の柱として、羽須美地域の振興ということがあげられている。具体的にどんなものか知りたい。それから、議会としても、ここに力をいれてほしい。
- 羽須美地域では、子どもの人数もかなり減っていて、学校の活動も厳しい状況。定住策、それから、いろいろな知恵を絞っているが、なかなか人口増につながらない。具体的な策や成果がもっとほしい。
- この議会の意見交換会について。若い人の参加者が少ない。参加者があっても固定されたメンバーになっているので、もっとネット活用すべきではないか。ネット活用することで外部からの参加もあって、新しい風が吹くこともある。
- 議員研修について。内容は、いいものを勉強しているのに、議員だけで理解していて、なかなか町民にそのよさや考えを伝える機会がないのではないかと。そういった研修に関連団体や、関係職員、町民も自己負担ありでかまわないので、一緒に研修に参加できる場があれば、その後の町の政策につながるのではないかと。
- 夏に行った議会意見交換会の報告書がホームページに載せてあったり、公民館に配ってはいるが、結果やその後の動向というのが書かれていない。どうなったか知る機会がない。その後の動向を教えてください。
- 議会広報について。反対討論など内容が詳しく知りたいので、紙面の工夫をお願いしたい。

### (第2グループ)

- 学校の統合について。小学校、中学校、どちらも子どもの人数が少なくなっている。統

合については、どのような方向になっているのか。こちらの中学校では、人数が少ないうえに、部活の関係などで石見中学校のほうへ行っている方もある。少ないところがますます少なくなって不安だ。

(議 員) 今の町長は、自分が任期のある限りは、統合については考えていないと言われている。住民の方が、納得できるように、早めに対策を進めるべきではないか。

- 三江線の資産活用について。この地域では、人口の増加に向けて活用している。特に宇都井駅については、解体しなくてはならないことが、先で起こった場合に、解体するお金は使わずに、それが解体ができるようにしている。町が別途にお金を出さなくてもいい状況になっているので、町民のみなさんに理解をしていただくことを、積極的にPRしていくべきだ。それから、三江線は6市町が連携をして今後の行方を話しあうべきだったけれども、連携がよくなって、今のような形になっているのは少し残念だ。
- この地域には旅館がなくて、民泊を10年くらい続けている。もう少し地域のために、続けてがんばっていきたい。
- 道の駅瑞穂について。どのようなことになっているか。

(議 員) 町の方から議会には示されているが、周りの皆さんの理解や、土地の取得等について、町は話を進めている。また、国の補助が受けられれば、受けられるように今後、できるだけ早めに整備するように町も努力をしている。

- 集落再編や自治会の再編について。どのような方向になっているだろうか。集落同士が一緒になるというようなことを話し合いをしたとしても、話が進まないのが現実だ。自治会というものは、地域での運営が基本なので、行政のことについては、行政協力員主導でやってもらうのが、いろいろ仕事も多いので、そういう方向になってもらいたい。集落もだが、自治会、集落の再編については地域で考えんさい、と町は言うけれども、そういうことでは話が進まない。町もこういうふうなやり方がありますよ、どう考えますか、というような地域への提案もするような努力もしてほしい。

### (第3グループ)

- 議会の流れが今日の説明でよくわかったが、動画にしてやればさらに良かったのではないか。
- A級グルメについて。羽須美地域では、A級グルメの効果とか実感として、なかなかイメージがもてない。関わっている人も非常に少ない。やはり、この点については、全町に波及するような仕掛けも必要ではないか。
- 羽須美振興室について。羽須美にあるが、これについて、中身がみえない。どういうことをされているのかわからない。
- ひも付きでない金をもっと自治会におろして、自治会で自主的に、積極的に有効活用して、地域振興をするのがいいのではなかろうか。
- 三江線について。宇都井駅あるいは口羽駅を中心に、いろいろがんばっておられるが、まだまだ、ここに訪れて利用される方が少ない。将来的な採算性などを考えてみると、やはり、人を呼び込むことが必要。資金がなくなったらこれが続かない、というようなことではいけない。やっぱり慎重に考えていくべきだ。
- 三江線について。一つの考え方として、トンネルもだが、道路に面して利便性のいいところについては、きのこ生産とかいうことに利用してはどうか。

- 三江線のトロッコについて。口羽宇都井間を通してのトンネルあり、鉄橋あり、山あり、川ありというふうな使い方ができるなら、人を呼び込む点からもおもしろいし、さらに効果があがるのではなかろうか。
- 空き地、放棄地、あるいは今の羽須美の景観でもある棚田等を有効に利用して、人を呼び込む、そういうことも協力隊等を利用してやっていくべきではなかろうか。農業だけではなかなか難しいので、いわゆる半農半X、こういう取組もしっかりと進めていくべきだ。そして、退職後の人にもっともっと活動してもらって、地域のために貢献していただいて、地域の活性化を呼び込むということも必要ではなかろうか。
- フィンランドの交流について。どういうメリットがあるのか、なかなか見えにくい。フィンランドの交流については、しっかりと町民に対して説明も必要だし、町民の理解を得るような交流のあり方というのが必要だ。ここまでやるなら、ひとつとしては、ノルディックの全国大会を邑南町でやったらいいんじゃないかな。

#### (第4グループ)

- 三江線の跡地利用の考え方について。議会の中でどんな議論になっているのか。地元とすれば活用ができるように、認めてもらえるように、なんとかお願いをしたい。  
(議員) 現在のところ議会の方に、執行部としてこういうふうにしたいからどうだ、というふうなことがないので、議会の中で詰めた議論をしているわけではない。
- オリンピック、パラリンピックのロゴマーク。これを、キャンプ地を招致したからには、こういったロゴマーク、許可をいただいて、活用できるようにして、車に貼るくらいなシールをみんなに配るようなことができないだろうか。
- 道路のことについて。今、落石防止のため片側交互通行があちこちにあって、これを早く解消してもらえないだろうか。浜作線の高見工区の完成は、いつ頃になるのか。なんとか、予算を配分してもらえるようお願いする  
(議員) いろいろ状況を説明。町が単独でということではないので、お願いをするしかない。
- 浜作線の代替バスについて。特に宇都井口羽線の利用が、便によってはかなり少ないのがある。これは、見直しはできないのか。  
(議員) 法定協議会で決定したことは、31年度までは、今の便で走らせるということになっているので、もう1年はこの便で走らせる予定。31年度中に見直しをして、32年度からは、変更することもできるので、1年かけて、今から検討していく予定。生活交通だけでいうと、人口が減ってきて、乗り手が少なくなっているのは否めないことなので、生活交通以外の観光などに活用できるようなことも考えなければならぬんじゃないだろうか。
- 議員定数について。多いけえ減らせという意見はございません。多くはない。多くはないが、減らすにしても議論ができるくらい的人数は必要なのでは。お金がないから、なんとか行財政改善で議会費を減らそうということで考えて、定数を論じるのではなくて、議会の中で、いろいろ議論をして、物事を決めていくのに必要な最低限のところはどこか、というふうなところを考えるべきではないか。
- 自治会役員のなり手がなく、という話が去年あったが今年はどうですか、という議員から問い合わせをした。やっぱり同じように、いまだに役員のなり手がなくというふうな状

況があると。なんでだろうかという話をした。特に若い人達の、わがままというか、自分勝手、あとはやる気がない、というようなことがどうも目につくと。やる気がないとか、わがままなのかというところが、ちょっと、今から、これは考えていかにやあいけん話。そこまでは詰めていない。

- この意見交換会の招集のあり方、案内の仕方をもう少し考えてやってはどうか。無線で流すにしても、内容についてももう少しわかるような放送を考えると。もう少し考えてやったらどうか。
- 本日の資料として配布資料が何も無い。きょうは議会の様子を、お知らせをしてもらったが、見ただけじゃあなくて、なにかそのことについても、持ってかえるような資料があった方がよかったのではないか。

## 田所公民館まとめ

### (第1グループ)

- 三江線の資産について。実証実験の結果が出たが、これから先、議会としてもきちんと執行部からの意見、いろいろな資料をもとに慎重に判断をしてほしい。
- 人口減少、高齢化がすすんでいる中、働き口が大事。進出企業などががんばってくれているので、ここに支援をしたらどうか。
- 福祉施設や町内の企業、採用の募集をかけてもなかなか応募者がいないという状況があるのではないか。
- 広島側と島根県側で、同じ職でも賃金が全く違うので、町内から働き手が流れてしまっているのではないか。
- 道の駅瑞穂の進捗状況について。どうなっているのか。最初聞いたのは、30年度という話。構想がかたまるのではという話だったが、今日の議長のあいさつでは、32年度ということが出た。その状況がわかりしだい、その都度、住民に説明してほしい。
- 行財政改革について。方向性が決まった段階で、その都度、町民に早めに知らせてください。それから、議会も責任をもって進めてください。

### (第2グループ)

- 空き家対策。非常に空き家があって危険なところがある。これは、町の財源で撤去できないか。  
(議 員) 条例に代執行ができるという条例はあるが、現在、その家屋を町が撤去するという条例はない。
- 上水道のない地域で、井戸を数年前に掘ったが耐用年数が来た。更新をしなくてはいけないときの補助制度がない。集落排水、あるいは下水道事業等々とかみあわせてみると、公平性がないじゃないか。  
(議 員) 上下水道委員会の方でも、諮ってみる必要があるという回答。
- 地区別戦略について。31年度で終了するわけだが、このまま終わったのでは、現在進

めているところが、ある意味、未完成で終わる可能性もある。事業の継続は必要ではないか、

(議 員) 個人的にも必要だと思う、と回答。

- フィンランドの派遣事業について。現在、町外に住んでおられる、町外に通学している生徒さんは対象外になっている。これを一緒にできないか。

(議 員) これも事前のミーティング等々、あるいは、現在すすめている学校の単位の問題、それから、来年度以降の事業でどのようになるかという問題もからめて、行政との検討が必要だ。

- 少子高齢化が進んでいる中で、保育所、小・中学校、これから、児童生徒数が減るので、こういったものの検討を進める必要があるのではないかと。小・中学校、統廃合を絡めた、本当にこれが適正な規模なのか、状況なのかという議論は進める必要があるのではないかと。
- 集落の維持管理、非常に難しくなっている。どのようにすればいいか。たとえば、財産はいらぬから、集落に寄附するといわれれば、受け取るべきではないか。

(議 員) いろいろな角度から検討の必要があるのではないだろうか。

### (第3グループ)

- 山の木が、切るのにちょうどいい時期になっているが、林道が整備されてない。搬出が、誰がやってもできんということ。山の木が出せるようによく考えてほしい。
- フィンランド、JRの資産譲渡、矢上高校の存続等、議員、もしくは議会が真剣に話し合いをして、方向を出していくべきではないか。
- 意見交換会のとりまとめを見ると、担当課長が答弁をするような、答えるようなことが書いてあるように受けとれる。住民の立場にたって、議員、議会は活動してほしい。
- 河川にかかる用水路とか、川底に土砂が溜まっているのを撤去してほしい。撤去してくれると言われているが、いつになってもしてくれない。そういうことを、地元は要望もっているので、精力的につめてもらえないか。
- 国の借金が非常に多い。一人あたり八百なんぼ借金があるっていうことを聞いているが、町の方は、財政について国のようなことにならんように、よく考えて財政を運営してほしい。

### (第4グループ)

- ふるさと寄附について。邑南町でどのくらいふるさと寄附があるのか。もっともっと、ふるさと寄附していただけるように。そして、活用がうまいことできるようなことを考えてほしい。
- 道の駅瑞穂について。住民向けの説明が少ないんじゃないか。今後、いろいろ計画する段階で、地元住民が入れるように、あるいは、思いが反映されるようにしてほしい。
- A級グルメとかパラリンピック、あるいは、地区別戦略等やって、社会増になっているとか言われているが、実際に社会増になっているのか。子どもが増えているんだろうか。その実感はない。

(議 員) 社会増と子どもの数は、必ずしも一致はしないということ。実際に子どもの数は増えていないのかもしれない、というような状況。議会の中では、これまで、検討、検証していないかもしれないので、また、今後いろいろ考え



ていかなければならない。

- 年齢のことで、65歳以上、高齢者と言わないように何とか、今後。まだまだ69歳までは、現役ばりばりで、みながんばっているのではという意見
- 邑南町はものがあるようでものがないという意見。昼に、ちょうど昼ごろに食べるころはあるが、ちょっと時間を過ぎるとない。暗くなると、もうコンビニしか買うところがないというようなことで、いろいろなものがあるようでない、というようなご意見がございました。

(議 員) 町のいろいろもっている情報の伝達、これをどう考えるかということを経会としても考えていかなければならない。

## 中野公民館のまとめ

### (第1グループ)

- 道の駅瑞穂については、平成32年度頃からとっかかるのではないかと話を、今日聞いたが、それよりも、子どもの教育の方である石見中学校の改築を早くしてほしい。  
(議 員) 検討委員会を設置して、今月中旬くらいに、初会合があるんじゃないかというような話をした。
- 人口増につながる施策をもっとすべき。その中でも特にスポーツを通じた健康づくりということで、今、元気館でいろいろやっておられるが、あそこまで行くのが遠い。こちらの方にも、そういったことができないだろうか。
- 子育て関係で、児童クラブをもっと充実してほしい。建物を含めて、充実をしてほしい。
- 高齢者の運転免許書の返納。行政もしっかり進めるように補助金等も考えてほしい。バスの券であるとか、なんかいいことはないだろうか。
- 中学校、クラブに所属して放課後活動しなければならないということだったと思うが、入らなくてもよくなったんじゃないかと。早く帰って、何をするんだという話。中学校、どっかのクラブに入らなくてもよくなったということで、どう考えとるんだろうか。  
(議 員) 総務教民の委員会の方でも、そういった話がまだ出てない。
- 邑智病院の建替えがされるという話を聞いた。財政的に大丈夫なのか。
- しごとづくりセンターを今年始めたんだが、今の状況どうなっているのか。今後もやっぱり必要なのだろうか。  
(議 員) 今の状況を説明しながら、その内容について昨年1年間やった。その成果がまだ出されてないので、今後検討していかなければならない。
- 空き家対策。危険なところの取り壊しなどは、どうして進めていくか。  
(議 員) 持ち主と地域、あるいは町とか持ち主さんをお願いをして、進めていかなければならない。
- 三江線の資産について。財産の大きなものを引き取って、将来大丈夫なんだろうか心配。

### (第2グループ)

- 意見交換会の参加者が少ないが、どういう理由だろうかということについて。みなさんの関心が低いのと、やっぱりその進め方について、もっと検討してみるべきじゃなかろうか。

小さい地域、それから小さい会合ほど出席者が多いような感じがする。参加者を増やす手立てをもう少し考えるべきだ。

- 森実橋近くの町道の改良の計画は古くからあるが、なかなか前に進まない。もちっと金を付けて、買収もしてあるんだけえ、早くやってもらおうように頼んでほしい。
- 少子高齢化が進む中で、学校の再編を考えるべきじゃないか、考える時期に来ているのではないか。そういった再編をすると、保育園、学校のない地域は、その地域の活動、地域の活性化に大きな影響が出るという意見。それから、保護者と地域住民の考え方の差があるので、なかなか維持存続というのが難しい場合も出てくるという意見。効率化、効率化いうことで子の教育が考えられるのはどうかという意見。
- 農地保全・維持について。年々、農地を維持していくことが難しい状況になってきている。行政からの支援は、大規模農家や大きな集団、法人のようなところにばかり集中していて、小さい農家を見捨てとるんじゃないか。

(議 員) 中山間地域の直接支払いであるとか、多面的機能支払い交付金、これをもっと地域で有効に活用していけたら、草刈り、または農地の維持が、多少なりとも楽になるんじゃないだろうか、というお話をした。この二つの制度は、法的には確立されているので、補助金が増えるか減るかいうことはあっても、この制度は今後も続くと思う。多面的機能の交付金は、30年度が一応の区切りになるが、31年度への取組も進んでいるし、中山間地域の直接支払いは、31年度が一応の区切りになるが、これもまた続くと思われる。

- 邑智病院は、最近、黒字で、いいことだ、いいことだいうことだが、考えてみると、病人がそれだけ多いということだろうから、黒字だけえいうて喜んでいいのか。

(議 員) 病院の経営内容というものが、みなさん方には、なかなかわからないと。町からも一定のルールで金銭的支援をして黒字になっているという話をする。

- 邑智病院の経営内容について、みんなにわかるような説明が必要ではないか。
- インフルエンザの予防注射は、行くところによって値段が違う、なぜか。健康保険がきく注射ではないので、それはそこそこの医療機関によって、差があるのは仕方ないかなあ、という意見。
- 有害鳥獣対策。これも大変な問題で地域では苦慮している。それについて、有効な方法とかを話し合いをしてきたが、行政がもっと積極的に支援をしてくれればいいのに。

### (第3グループ)

- 日桜ロードについて。現在、冬季閉鎖中ということだが、今年のような暖冬の場合には、閉鎖の必要がどうなんだろう。もう少し臨機応変に対応できるようにならないか。
- 矢上高校について。倍率とか合格率、それから、推薦等があるが、行きたい子が行けている状況なのか。それから、生徒確保のために桜江からの生徒も勧誘してはどうか。また、町内からの入学者が少ない状況なので、もっと増えるような策を。また、魅力化の推進をもっとしてほしい。
- 防災について。近年、ゲリラ豪雨など降水量が短時間に集中しているような状況があったり、昔と気象状況がだいぶ変わってきている。現在、町内にある堤とかため池、これらが決壊したら大変なことになるので管理をきちんとしてほしい。点検はどうなっているのだ

ろうか。また、このため池、堤の管理について、現在管理組合等で対応していただいているが、住民任せでなく、もうちょっと行政もきちんとできないだろうか。

- 10年後、邑南町の人口推移予想が新聞報道で7,500人と出ていたが、人口増へのもっと具体的な策を行ってほしい。

- 地籍調査の進捗状況について、現在どのような状況か。

(議員) 議会でわかっている範囲で回答。ゆっくりではあるが、現在5割を超えた土地で進んでいる。

- 町政に関心のある方が少ないのが気になる。意見交換会などもっと身近なところへ、議員さんからも出かけて行って、対話を広げてほしい。

(議員) 参加者を増やす工夫を議会としてもするが、みなさんからも声をかけあったりしていただければいいなと思う

- 町職員の数について。合併して15年たったが、数はどうなっているのか。

- 議員定数、報酬について議員からの質問に対して。数は、今のままでいい。増やして、バリバリやってほしい、というような話もあった。また、報酬については、生活ができるように上げてもいいじゃないか。また、専念できるように、議員さんももっと、もっと年中通じて活動できるのではないか。